

## 2017国際事業 in Kuroshio ニュージーランド訪問団交流会

中学生海外派遣事業として、ニュージーランドのフェアフィールドの中学生11人と、黒潮町の中学生12人が交換ホームステイを行い、黒潮町の中学生がニュージーランド訪問後、フェアフィールドの中学生らは黒潮町を訪れました。

10月5日(木)、黒潮一番館でニュージーランド訪問団によるカツオタタキ体験と、交流パーティーが開催されました。

滞在最後の夜、フェアフィールドの中学生は、自分たちが作ったカツオタタキをホストファミリーと一緒に楽しみ、地元の料理を食べ交流を深めました。

最年少で  
来町したエ



タタキの炎に歓声  
が上がります

「人が優しく、海もとても綺麗で文化も本当に好きです。カツオが美味しかったのと回転寿司が楽しかった。絶対忘れません」と交流を楽しんだ様子でした。



にぎわう交流会の様子

## 第14回土佐さがのもどりカツオ祭

今年で14回目となる「土佐さがのもどりカツオ祭」が、佐賀地域の黒潮一番館周辺で10月14日(土)に開催され、約一万人の来場がありました。



脂ののったカツオ

時折小雨が降り、あいにくの空模様でしたが、カツオ水揚げ量県下有数の佐賀漁港で水揚げされた美味しいカツオを食べようと多くの方が訪れ、秋の味覚を楽しみました。

毎年好評のカツオ御膳は、薫焼きカツオのタタキやきのこのかき揚げなど、地元の食材を使った佐賀地区ならではの内容でした。今年もカツオ御膳の抽選券付前売り券がインターネットでも予約可能となり、前売り券が約900枚、当日券が約100枚購入され、開始前から長蛇

の列ができ、この日用意されたカツオは約2トンにのほりました。



薫で焼くカツオのタタキ

出店なども多数出店され、会場内には、カツオを目の前で捌き薫で焼く場面もあり、来場者は炎に歓声を上げながら見入っていました。



主催者との会話も弾む

四万十町から夫婦で来たという竹内広記さんは「カツオにはうるさいが、こんなに美味しいとは思わなかった。塩で食べる」とより美味しい」と堪能した様子でした。

また、会場に設けられた特設ステージでは、舟歌から始まり、佐賀保育所園児による鳴子踊り、幡多舞人によるよさこい鳴子踊りの披露や、旨いもの早食い競争、餅投げ、子どもたちによる一本釣りゲームなども開催され、会場は大いに盛り上がりました。



- 1 幡多舞人
- 2 園児による鳴子踊り
- 3 薫で焼かれるカツオ
- 4 一本釣りゲーム
- 5 賑わう祭りの会場
- 6 カツオを求める行列